

川口川整備工事説明会 開催記録

1 開催概要

日 時 : 令和 7 年 3 月 24 日 (月) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分
場 所 : 川口東部会館 (八王子市川口町 1970-1)
来場者 : 10 名

2 説明会来場者からの主なご質問と回答

1) 工事内容について

Q1 工事の搬入経路は、小中学校の通学路であり道幅も狭いため、大型車両が通行する時間として、通学・通勤時間の 8:00～9:00 を避けていただき、安全対策を徹底してほしい。

A1 工事の作業開始時間は、8:00 からを予定しており、所轄警察署に道路協議書を提出し、許可をいただく予定である。また、大型車両通行の際は、細心の注意を払うとともに、所定の位置に交通誘導員を配置し、安全対策を行う。

Q2 みんなの広場の遊具を移設するとのことだが、どこに配置するのか。

A2 八王子市公園課及び地元町会と移設位置を調整する。

Q3 現在、駒形橋から上流の右岸側は柵がないが、管理用通路から落下しないよう柵を設置するのか。

A3 管理用通路の川側護岸天端に転落防止柵を設置する。

Q4 堀口橋下流部の溜まりにカイツブリが営巣しているが、工事中はどう対応するか。

A4 山王橋上流の水の溜まりなど工事範囲外に逃げるよう工事着手前に対応する。対応方法は、相談したい。

Q5 ツルヨシが自生しているため、工事後に早期回復できるよう工夫していただきたい。

A5 可能な限り、現在の河道表土を再度利用するとともに、ツルヨシの地下茎を取って河道表土に戻すなど、工夫して実施していく。

Q6 駒形橋から下流部は、単一断面で浅い流れになっており、魚や鳥があまりいないように思う。そうならないように留意いただきたい。

A6 駒形橋から堀口橋までの区間は、河道線形がカーブしているため、右岸側のみお筋を深くし、淵が形成されるような構造としている。

Q7 落差工の魚道部分は、自然石を使用することであるが、同じような石の大きさに設置してしまうと、水深が浅くなり魚が遡上できなくなってしまう。なるべく石の大

小に変化をつけ、水の溜まりや渦ができるよう配置等を工夫してほしい。

A7 落差工の魚道部分は、水の溜まりができるよう、段差がつくような構造としている。

2) 今後の工事内容について

Q1 堀口橋下流部の溜まりにカイツブリが営巣しているが、工事後にカイツブリがまた戻ってくるような工夫をしていただきたい。

A1 淵を形成することとしているが、淵の幅を広げたり、溜まりを作るなど、可能な限り河道内を工夫して整備していく。

また、みんなの広場の緩傾斜河岸化にあたっては、ワンドによるビオトープを形成することを検討している。

Q2 駒形橋上流右岸の旧川敷に通路を設置するとのことだが、現在立木や竹が繁茂し河畔林として、鳥などの生物の生息場としていい環境であるが、すべて伐採してしまうのか。

A2 河畔林として良好な生物の生息場となっていることから、すべては伐採せず、部分的に伐採・間伐を行い、緑道などを整備していく予定である。今後詳細に検討する。

Q3 駒形橋上流左岸側に階段を設置するとのことであるが、人が階段から川の中に入り野鳥と接近してしまうと、野鳥が恐れて寄り付かなくなるため、階段は下りれないようにした方がよいと考える。

A3 管理用の階段であるため、将来的に一般開放するかは調整させていただく。

Q4 みんなの広場に親水河岸を作るとのことだが、イベントなどで利用するスペースが狭くなることが懸念される。なるべく今の状況でイベントができるようにしてほしい。また、遊具は現状のものを復旧するのか。

A4 河川施設の整備のために買収した土地であるが、地域に広場がない状況を認識している。現在、親水河岸の範囲や形状などは検討段階である。今後、八王子市、地元住民・町会の意見・要望を取り入れ、遊具の配置も検討を進めていくため、ご協力をお願いしたい。

また、遊具は現状のものを復旧する予定である。

以 上